

## ブロッコリーV字仕立てによる 12cm 径花蕾の2花蕾どり増収技術

青果向けブロッコリーの中心規格は 12cm 径花蕾であり、この規格の花蕾数増加が最も望まれています。頂芽があると側枝の生育は抑制され、側花蕾が 12cm 径に達するのはまれですが、頂芽を取り除く（摘心する）ことで側枝は伸長を開始します。そこで、農研機構野菜花き研究部門では、秋冬作期に約 12cm 径の花蕾を 1 株から 2 個収穫して増収を図ることを目的に、摘心後に芽かきし、側枝を 2 本に仕立てる「V 字仕立て 2 花蕾どり技術」を開発しましたので、その概要を紹介します。

### ☆ 技術の概要

1. 側花蕾の肥大性が強い品種である「夢ひびき」を摘心し、その後、芽かきをして強い側枝を 2 本残した 2 本仕立てにすることで、12cm 径花蕾が 1 株から 2 個収穫できます（図 1）。
2. 「夢ひびき」1 個体に発生する腋芽総本数は 4.7 本であり、特に第 5 葉から第 8 葉にかけては腋芽の発生確率が 80%前後と高くなります。
3. 第 7 葉齢から第 11 葉齢の間に摘心を行い V 字仕立てとした場合、慣行栽培（対照区）と比較して可販品質花蕾数が有意に増えますが、第 11 葉齢で摘心を行った場合に最も多く、約 60%増加します。
4. 摘心をする葉齢が遅くなるにつれ、収穫時期は遅くなります。
5. 定植～平均収穫日の積算温度は、慣行栽培では約 1200(°C・日)、V 字仕立てでは約 1500(°C・日)ですまた、摘心時期の目安である第 7～11 葉齢となるのは、定植後約 400～600(°C・日)です。

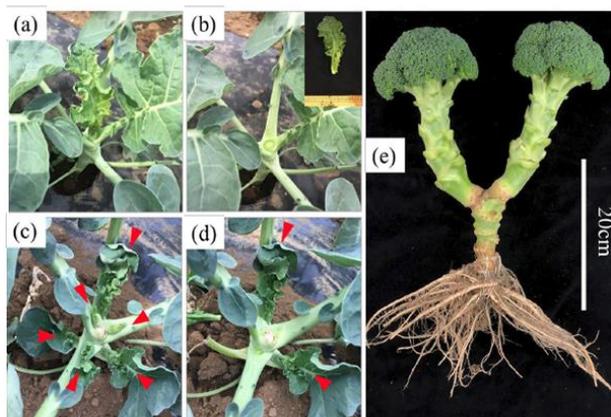


図1 V字仕立ての様子 第9葉齢個体の (a)摘心前 (b)摘心後、(c)摘心後の腋芽伸長状況、(d)2本仕立て、(e)収穫期の株では、2本の側枝が「V」の形状を成している（見やすいように葉は除去）

### ☆ 活用面での留意点

1. 単収が増加するため、面積拡大が難しい地域での活用が期待されます。
2. V 字仕立て栽培に必要な積算温度は慣行栽培の約 1.3 倍のため、気候によって 2 作分の栽培が厳しい地域において、圃場と労働力の効率的な活用が可能となる。
3. V 字仕立てをすることで栽培期間が延長するため、肥切れを起こさないように施肥量を増やし、生育適期を過ぎて低温に遭遇しないように注意する。
4. 積算温度は、他地域で V 字仕立てを実施する場合の、摘心を行う時期や収穫時期の目安として活用できます。
5. 詳しいことは、農研機構野菜花き研究部門（TEL:029-838-6574）までお問い合わせ下さい。